# 仏教入門講座

澤山晋太郎
理論物理学者　哲学者　博士（理学）

# プロフィール

2001年慶應義塾大学理工学部物理学科卒
2007年東京工業大学理工学研究科基礎物理学専攻卒　博士（理学）
ブラックホールの消滅問題を解いて博士論文を書いた
哲学者でもあるし、言語学者でもある
ほとんどの学問を研究してきた
ちなみに、自分は科学者なので、宗教家ではない

# 目次

- 仏教の目的
- 仏教の教え
- 釈迦の生き方
- 日本仏教
- 仏教色々

# 仏教の目的

仏教は神を信じるような宗教ではないです。
目的は簡単で「仏陀になること」です。
釈迦＝仏陀ではないです。
釈迦は悟りを得て仏陀になったのです。
人間は仏陀になることができます。
仏陀とは簡単にいえば精神的に強い人です。
仏陀のことを仏とも言います。
では、釈迦が初めて仏陀になったかというと、初めになった人は他にもいるかもしれないって釈迦が言っています。
仏教とは仏になる教えなわけです。
そのところを非常に誤解されていると思っています。

# 仏教の教え

では、どうすれば仏陀になれるかと疑問に思うでしょう。
そこで、仏陀になる方法が色々な人によって考え出されました。
ちなみに、釈迦が言ったのは四法印という教えです。

諸行無常
諸法無我
涅槃寂静
一切皆苦

の四つのことを非常に重要な四つの教えということで四法印と言います。
法とは仏教で教えのことを言います。

# 一切皆苦

四法印はここから始まります。
簡単にいえば、一切のものは苦痛であるということです。
しかし、現代では人間には快楽もあるので、一切のものが苦痛とは言えないです。
しかし、仏教では快楽を得ようとするから苦痛があるという教えになっています。
ちなみに、釈迦の教えの一つに、自分が言ったことでも間違っているのなら変えていいとあります。

# 諸行無常

では、なぜ一切が苦痛であるかというと、諸行無常だからということです。
諸はあらゆるで、行は行いです。
あらゆる行いが常ならむと言っています。
つまるところ、世の中が移ろい変わるから、苦痛が発生するんだって言っています。
しかし、世の中が移ろい変わっても普遍的なものもあります。
そういうものを発見せよと言っています。
平家物語の冒頭に登場する盛者必衰はその理の一つです。
例えば、物理学の法則などが現代では諸行無常の理になっています。

# 諸法無我

では、どうすればいいんだ？ってなるとあらゆる教えは無我の境地に達することとなっています。
諸法とはありとあらゆる教えのことです。
しかし、無我と言ってもよくわからないと思います。
それで、龍樹という人が色即是空という言葉を編み出したくらいです。
ただ、自分は無我の我はアイデンティティのことだと思っています。
アイデンティティとは自分はどういうものだというものです。
例えば、自分は自分のことを物理学者なんだって思って、
自分の心を安定化しています。
しかし、それは駄目な物理学者だと言われた時などに傷つきます。

# 諸法無我２

子供が大人になる途中も思春期というものを味わいます。
その時に自分が子供なんだってアイデンティティを壊さないとならないです。
その時に精神的な危機が来るものなんだって言われています。
例えば、自分は今は33歳なのですが、30歳を境に急に太りました。
それまでは自分で自分のことを痩せていると思っていましたが、
太ったと認めるまで大変でした。30歳くらいでアイデンティティの危機がありました。
つまるところ、アイデンティティを持たなければ、心を強くすることができるよって言っていると思います。

# 涅槃寂静

そうやって、無我の境地に達すれば、涅槃寂静という精神的に非常に落ち着いた状態になると言われています。ただ、多くの人は無我って何だろうって疑問に思います。自分もたまに無我の境地にいるときはあります。ただ長くは続かないです。どうやったら無我の境地に達することができるのか、仏教では研究されています。

# 色即是空

無我と言われても非常に難しいために龍樹さんが考えた言葉です。
ただ、仏教の用語では非常に難しい言葉になっています。
自分は道徳の研究をやっていましたが、
道徳とは心のありようでした。
しかし、心のありようは決して決められないようになっていました。
自分はすべての道徳に根拠が無いことを簡単に証明しました。
Aという道徳があれば、それに反するBという道徳もあります。
この場合は決めようがなくなります。
しかも、〇〇であるべきなんて科学では言えないです。

# 色即是空2

道徳を扱うのは全て非科学的なものです。
心がどうあるべきなんて観測できないので科学では決めようがないです。
なので、色即是空とは心のありように依存しないことを言うと思っています。
色とは人間の五感に第六感を加えたものを言います。
心を見る心が第六感です。
空とは0のような概念です。あるかないか分からないようなことを言います。
インドで0が登場したように、インドには空という概念がありました。
心のありようを定めなければ、心が傷つくこともないだろうって思っています。

# 大乗と上座部

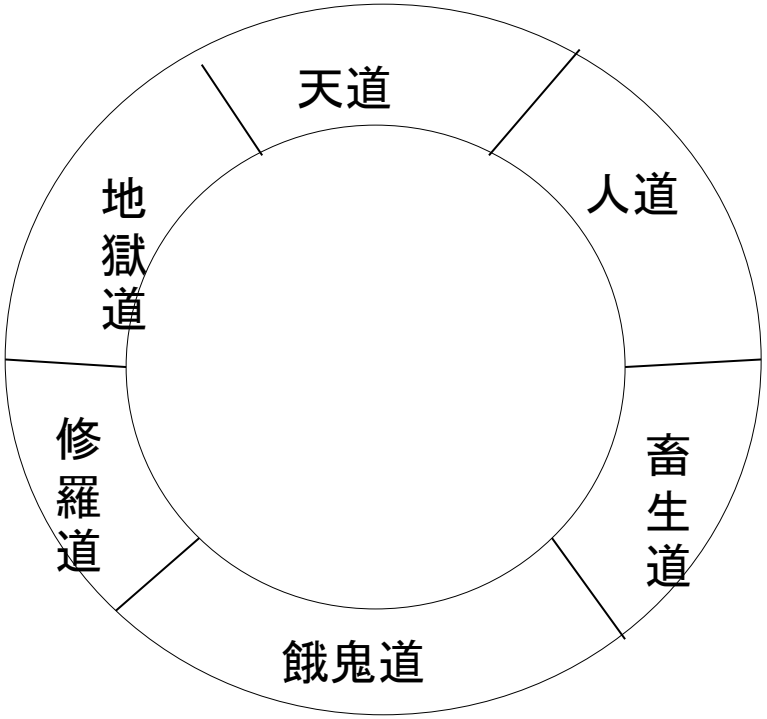
仏教には大きく分けて二つの宗派があります。
釈迦の死後100年くらいたって、お布施を取ってはいいかどうかで分裂しました。
お布施を取らないのが上座部です。
ビルマの竪琴を見れば分かるように、向こうのお坊さんは一般の人から食べ物などをもらえるようになっています。
タイ、ミャンマー、スリランカなどが上座部です。
大乗仏教は中国、日本、韓国、ベトナムなどです。

# 大乗と上座部2

上座部は悟りの開き方は四法印しかないよって言っているのに対して、
大乗では悟りの開き方はいく千通りもあるよってなっています。
上座部では努力した人だけが仏陀になれるのに対して、
大乗では誰もが仏陀になれるという思想です。
後は釈迦を神格化しているのが上座部だったりしています。
神通力という超能力を使えるという考えが上座部にはあります。
ただ、国によっても仏教は全然違います。
日本は大乗の国で、悟りの開き方はいくらでもあるよって考えなので、
多くの宗派があるわけです。

# 輪廻思想

輪廻という考え方は3000年くらい前からインドにありました。ヴェーダには書いていないです。釈迦は輪廻から抜け出そうと言って、古代インドで仏教が流行った。輪廻からの解脱を解いています。仏陀になれば輪廻から抜け出せるよって言っていた。アーリア人が輪廻という考え方を持っていた説が有力。バラモン教の教えとなっていたが、どうやらそこは間違っていたらしい。




輪廻には六道ある。
仏陀になるとここから抜け出す。カースト制から抜け出せるので、古代インドで一大ブームが起きた。

# 輪廻思想が仏教道徳の根幹

なぜ殺人が駄目なのかというのに答えるために輪廻思想が必要になってくる。
生まれ変わって殺害される人になった時の気持ちを考えるから殺人をしないようになっている。
輪廻思想はありとあらゆる道徳の根幹になっていたりする。
そもそも、輪廻というものは時空を超えて生まれ変わるらしい。
敬虔な仏教徒は虫も殺せないらしい。

# 仏教の教え色々

中道：中間的なものの見方がいいよって教え。
拘りを捨てよという教えだったりする。
四法印への拘りをも捨てるのが大乗の思想だったりする。
非科学的なものを排除する：非科学的なものを排除しようねって教えだったりする。
間違っていたら訂正できる：哲学みたいになっています。
嘘も方便：他人に真理を教えるためなら嘘を言ってもいいという教え。
八正道：人間の精神病を治すために考案された。人間が精神を病むのは心に偏りがあるためであるという考え。中間的なものの見方をすれば精神病が治るらしい。

# 大乗の思想

自分でも大乗の思想はかなり難しかったと思う。
そもそも日本語のテキストは最近になって登場したくらいである。
ただ、仏教には拘りを捨てよという教えがあって、
釈迦の説いた四法印にも拘りをなくすようにと途中から思った人が多かったらしい。
仏陀のなりかたならいくらでもあるよって考えだったりする。
有名な話で、釈迦の弟子で一番愚かだった人の話がある。
あまりに愚かなので、釈迦が桜の掃除だけやっていろって命令したらしい。
そうしたら、いつか悟ったという話がある。
なので、悟りの開き方ならいくらでもあるような気がする。
そもそも、仏教を知らないのに、仏陀になっているような人は大勢いると思う。
ちなみに、大乗の思想が開花したのが日本の念仏仏教だと思っている。

# 釈迦の生き方

釈迦が生まれた年には二説あります。ただ、大体2500年前に生まれたとされています。
今のインドとネパールの国境に小さな国があって、そこの王子として生まれました。
釈迦が生まれてすぐに出産の影響で実母が死にます。
その後は延々と義母に育てられました。
その時のインドは16ヶ国に分裂していて、戦国時代でした。
そもそも名前がおかしいと言われています。
釈迦とは釈迦族の釈迦国のことを言うので、本名はゴーダマ・シッダッタとか
シッダルータって言うらしいです。
釈迦は一国の王子だったので、修行に行く前に結婚して子供を持ちました。
子供ができてようやく修行に行くことが可能だったのです。

# 釈迦の生き方2

釈迦は初めは瞑想の修行をします。当時インドで有名だった二人の瞑想法を極めたと言われています。
その後で、荒行をやるのですが、途中で挫折します。
ちなみに、修行には五人の家来を連れて行きました。
荒行から抜け出した時はその五人から批判されます。
その時にヤギのミルクを飲んだって言われています。
その頃にどっちか一方の修行だけではいけないと思って、中道という言葉を開発したらしいです。

# 釈迦の生き方3

その後で、色々とあって、菩提樹の木の下で、悟って仏陀になったらしいです。

ここで四法印を考えます。ちなみに、その前に八正道というものを考えて精神病の人たちを治療していました。

その後で、色々な人を弟子にしながら当時の仏教の規模を拡張していきました。

平家物語の冒頭に登場する祇園精舎は釈迦が二番目に作ってもらった宿舎です。

五人の家来も弟子に戻して、最後は義母を弟子にします。

それが初めての尼さんだったらしいです。

それで、沙羅双樹の花が咲いているところで死んだと言われています。

# 日本仏教

- 初期の仏教
- 真言宗
- 天台宗
- 浄土宗、浄土真宗
- 日蓮宗
- 禅宗
- 日本仏教の現状

# 初期の仏教

日本では昔、神道があった。
なので、仏像のことをどうやら大陸の神と思ってしまったところがある。
そこから仏像仏教という仏像を信じる仏教が始まった。
中国では三蔵法師が天竺（インド）に行って、大量の経典を中国に入れた。
その経典が、遣隋使や遣唐使を伝わって日本に入ってきた。
聖徳太子が日本を仏教の国にしたりした。
崇仏派の蘇我馬子について、排仏派の物部氏を排したりした。
聖徳太子は推古天皇の摂政で、十七条の憲法を入れて、冠位十二階を作った。

# 初期の仏教２

十七条の憲法には全て仏教の教えが書いてある。
仏教の教えに従って、日本に官僚制を作った。
ちなみに、その当時の仏教は中国で都合のいいように改良されていたので、
身分制のようなものがあって冠位十二階が生まれた。
遣唐使から持ち帰った経典によって日本仏教は最澄と空海によって始まったことになっている。
ただ、それ以前も中国の僧侶が日本に来ていたりして、奈良仏教という正式な仏教が来ていた。
そのころから大乗の思想が日本に入っていた。

# 真言宗

般若心経が大元のテキスト
般若心経では空こそ全てになっている。
原始的な仏教に一番近いと思う。
ただし、祈祷を行うところがある。
最近のお坊さんが信じているかどうかは知らないけれど、神通力派である。
お遍路なんてまさに神通力である。
日蓮宗だけがお遍路をできないようになっている。日蓮が真言宗を批判したので…
空海が始めた。

# 真言宗2

密教を信じているらしいけれど、現代日本ではあまり信じられていないらしい。
ちなみに、空海と最澄は喧嘩してわかれた。
空海のことを弘法大師とも言う。別名があるのは位が高い証拠である。
高野山金剛峯寺が総本山である。
最澄と空海が日本に仏教を広める辺りが日本でも正式な仏教が広まる辺りである。
ちなみに、密教とはチベット辺りで古代インドのバラモンの神々を取り入れてしまった仏教である。そこからヒンドゥー教が始まったりする。
現在でもチベットには昔の密教が残っている。

# 天台宗

最澄が始めた。比叡山延暦寺が総本山である。
最澄は密教を捨てて、法華経を重んじるようになった。
日本でも真言宗以外は比叡山から分派しているので、法華経が背景にある。
ちなみに、去年比叡山に行ったら、ただの仏像仏教になっていた。
後はお守りを売っていたりして、酷い仏教になっていた。
しかし、それは観光地だから仕方ないところもある。
最澄は色即是空が分からなかったらしい。

# 浄土宗と浄土真宗

法然や親鸞が始めた。
どういう教えかというと、死後極楽浄土へ行って、阿弥陀如来の助けを借りて仏陀になるって教え。
極楽浄土は西方にあるらしいし、極楽浄土と言っても阿弥陀如来の説法を毎日聞かされるようなお寺のようなところらしい。
ただし、親鸞は死後のことは方便として言ったって言っている。
ただ、念仏を唱えて死後救われると思っていれば、もうすでに仏陀になっているらしい。
このあたりは親鸞の歎異抄に書いてある。

# 浄土宗と浄土真宗

念仏仏教の起源だったりする。
念仏は南無阿弥陀仏
このころの鎌倉時代は末法思想と言って、もう仏陀は現れないという思想がブームだった。
それで阿弥陀如来信仰などが生まれることになった。
極楽浄土というのはキリスト教の天国と同じ概念だったりする。
中東の思想が日本にも伝わってきたりした。
南無はサンスクリット語で帰依するという意味。
念仏は阿弥陀如来に帰依するという意味。

# 日蓮宗

これも天台宗と同じで、法華経至上主義である。
こちらの念仏は南無妙法蓮華経である。
日蓮の教えを守れという宗教である。
釈迦と日蓮どっちが偉いかという論争になって、日興という人は生前に日蓮が釈迦に教えを説いたってなっている。それで日蓮正宗があったりする。
基本的に教えはあまり違わない。
この念仏の南無妙法蓮華経は国にも功徳があるよって考えである。
日蓮が立正安国論を書いてから蒙古が攻めてきたので、認められたりした。

# 日蓮宗2

日本仏教の中では預言者のようになっている。
寺の作りが豪華だったりする。金を使ったりする。
後は日蓮は他の宗派を徹底的に批判したりした。
念仏の意味は法華経に帰依するという意味。
ちなみに、法華経の中では釈迦が神のようになっていたので、滅茶苦茶な経典
と思ったのだが、実は高度な比喩を使って書いてあるらしい。
ちなみに、地元にまつわる事件で熱原法難というのがある。
厚原の農民たちが日蓮宗になって厚原の有力地主と戦うといういざこざがあったらしいのだが、その時の有力地主というのはどう考えても澤山家だったりする…

# 禅宗

栄西、臨済などが始めた。
座禅という瞑想修行をする宗派である。
日蓮宗に比べると寺の作りが質素。
これも原始的な仏教に近い。
京都に南禅寺があるけれど、桜を全て切ってしまったところがある。
それで今では紅葉の名所になっている。
ちなみに、京都の仏教は京都仏教と呼ぶべき代物になっている。
観光客が多いので、そうなってしまっている。
自分は禅宗にはあまり詳しくない。
ただ、瞑想修行で感覚遮断の修行があるらしいとは聞いた。

# 日本仏教の現状

まず、江戸幕府はキリシタンの迫害以外にも仏教の迫害もしてきた。
織田信長は比叡山の焼き討ちをやったが、一向宗は浄土真宗を信じていて、死後極楽浄土へ行けると思って、死を覚悟して攻めてきた。もちろん、当時の織田信長の家来に徳川家康がいるから、その恐怖を知ったと思う。
それで、江戸時代になるとお寺は葬式だけやっていろということになった。
後は、神社とお寺が同じ場所に置かれたりした。

# 日本仏教の現状２

その代わり江戸時代の学者は朱子学という、神道、仏教、儒教の三つを組み合わせた新しい宗教を作った。
それが戦前まで続く。
世界でも結婚したり酒を飲んだりするお坊さんは日本にしかいない。
それで海外から批判されたりしているし、
オウム真理教という原始的な仏教を信仰する宗教までできた。
最近だとテーラワーダ寺院というところでスリランカのお坊さんが日本に上座部の仏教を普及させていたりする。

# 仏教色々

１：四苦八苦は煩悩の数

４×９+８×９=108

四つの苦しみの中に、さらに八つの苦しみが入っているらしい。

四つの苦しみとは、生まれる苦しみ、病気になる苦しみ、老いる苦しみ、死ぬ苦しみらしい

２：四十九日

日本仏教などの中国から伝わった仏教では四十九日がある。

死後、三途の川を渡って彼岸に行くまでに、七日を七回やるらしい。

一回ごとに裁きがあるらしい。

五回目に裁くのが閻魔大魔王になっている。

# 仏教色々

３：地蔵

これもよくわからない話だが、日本仏教には弥勒菩薩説がある。

今から56億7000万年後に宇宙が消滅して、その時に弥勒菩薩が救ってくれるらしい。末法思想というものがあって、もう仏陀は生まれてこないという思想。それまでの間、地上を守ってくれるのが地蔵らしい。ちなみに、56億7000万年後は誤訳で正確には5億6700万年後らしい。大陸からメシア信仰が伝わったらしい。

# 日本仏教の文化

寺の建築が木造というのは日本などである。
石造建築の寺院のほうが海外には多いし、
花を飾ったりする。